

シリーズ 学校めぐり【第3回】 加佐中学校へGo!

西舞鶴のさらに西。加佐地域は昭和32年に舞鶴市と合併して62年になる。面積は市全体の30%を占めるが人口は市全体の4.4%ほど。広々としているからこそ、地域のつながりや関わりはとて大切だ。

加佐中学校では地域からの依頼で清掃活動や敬老会などへ参加するなどさまざまな取り組みを実施している。10月30日には、一人で暮らす地域の高齢者に花を贈る「花いっぱい運動」があった。

昼過ぎ、生徒が廊下を集まると、手作りの花の鉢植

花がつなぐ 地域の絆 ~花いっぱい運動で笑顔もいっぱい~



えを手に取り、徒歩や自転車、バスと散り散りに学校を後にする。由良川の河口から山奥まで加佐全域が校区の加佐中学校では、生徒がそれぞれの地元で花を配るのだという。3年の有本さりと1年の橋本環さんはバスとタクシーを乗り継いで自分たちの住む山間の集落へ向かった。全校生徒は61人。学年の垣根なく皆仲がいいそうだ。高齢者の中には入院中などで、花を渡せない家もあった。向かったのは有本さんの知り合いだというおばあちゃんの家。会うのは小さい頃以来。自分を誰だか分かってもらえるだろうか…。だが、そんな心配はいらなかった。一目見たとたんにこちらに歩み寄り、大きくなったねと嬉しそうに抱きしめてくれた。

玄関に上げてもらい、昔のことを教えてもらった。「戦争中は授業もなくなり、運動場を耕してサツマイモを育てた。今のみんなは幸せや。勉強気張りや」。大きくなってからは学校に行ったり友達と遊んだり近所の人と会う機会が少なくなったという有本さん。「覚えてくれていたのがとてもうれしかった」と話してくれた。

「地域と共にある学校」であることを大切にしている加佐中学校。生徒が地域の一員として果たす役割は大きい。届けられた花は、地域の皆さんに愛されて成長した子ども達の思いと、その成長を家族のように見守ってきた地域の人々の思いをつないでいる。子ども達と地域との絆は加佐地域の大切な宝だ。

舞鶴市立加佐中学校

〒624-0117
舞鶴市字岡田由里20 ☎83-0004



下水道の水洗化から50周年

下水道 見えないところにも金メダル

下水道PRプロジェクトチーム「下水道整備課内」☎66-1029

お風呂に入る、食器を洗う、トイレを使う。生活で使われた水は、下水道管で集められ、処理場できれいにして川や海へ戻っていきます。皆さんが安心して暮らせる快適な生活環境は、普段は見る事ができない「下水道」で守られています。

市の下水道は、東市街地で、昭和35年から工事に着手し、昭和44年には、各家庭から出る汚水の処理を行う「水洗化」をスタート。今年で、「50歳」を迎えました。下水道管や処理場の整備が順調に進み、今では市内で、約500キロを超える長さの下水道管が道路の下に広がっています。

『水洗化50周年』節目の年に、下水道の大切さをお届けします。



水洗化50周年記念イベント

市内のランドマークともいえる観光地「赤れんがパーク」「田辺城」をモチーフにした『50周年記念マンホール蓋』を製作。古くなった蓋の交換に合わせて東西の市街地に設置しました。1月5日(日)から右の記念イベントを実施(詳細は下コードからアクセス可)。

この機会に下水道の世界に触れてみませんか?



マンホールの聖地を巡れ!! ~GO!GO!!スタンプラリー~

50周年記念マンホール蓋にゆかりのある「赤れんがパーク」「田辺城」を巡るスタンプラリーを開催。スタンプ用紙は両施設に設置。参加者の中から50周年記念マンホール蓋をモチーフにした『ゴム製マンホールコースター』(2種類セット)を抽選で100人にプレゼントします。

マンホールでインスタ映えを狙え!? ~#下水んすた~

Instagramに『#下水んすた』を付けて写真を投稿するSNSイベント。参加者の中から50周年記念マンホール蓋がデザインされた『オリジナルフェイスタオル』を抽選で10人にプレゼントします。